



### 商店街にカブトムシ現る 商店街(振)高崎中部名店街

商店街(振)高崎中部名店街(友光第一理事長、組合員66人)では、7月19日、20日、今年で4回目となる「高かぶイベント」を開催した。商店街に街路樹を並べ臨時にみどりのトンネルを設置し、そこにカブトムシを放ち、来街者に採取を楽しんでもらう名物イベント。カブトムシは、商店街の後藤政尚理事が育てたもので、1000匹を超える数を2日間で放った。この日を楽しみにしていた親子連れは、持参した虫取り網とカゴを手

に、街路樹にしがみついたり、土に潜ろうとするカブトムシと格闘していた。通りには、手裏剣投げ、金魚すくい、カブトムシプロレスなど、盛り沢山な内容で、夏休みを迎えた子供はもちろん、お父さんの楽しむ姿が多く見られた。



### 第24回ビアパーティ開催 高崎卸商社街(協)

高崎卸商社街協同組合(松本修平理事長、組合員109人)では、7月23日、新展示ホール「ビッグキューブ」において、第24回ビアパーティを開催した。

高崎問屋街青年経営者研究会が中心となつて行う行事で、毎年人気を博している。昨年は展示ホール改修のため開催されず、2年

ぶりの開催となった。そのため今回は定員数を大幅に増やし、当日の参加者は1000人余となった。



多くの参加者で賑わう会場

松本理事長が挨拶を行った後、役員が鏡開きを行い、松本理事長の音頭で乾杯。鏡開きに使用された樽酒は、参加者に振る舞われた。後半には、恒例の大抽選会が行われた。今回は、例年以上に豪華な景品が用意され、参加者はほろ酔い気分の中、一喜一憂し、大いに盛り上がりを見せた。

### 電気使用安全啓蒙のための キャラバン隊出発式

#### 群馬県電気工事(工)

群馬県電気工事工業組合(関口慶也理事長、組合員805人)では、8月1日、群馬県庁昭和庁舎前にて、電気使用安全月間に係る啓発

キャラバン隊の出発式を行った。8月の電気使用安全月間を受け、本組合では啓発キャラバン隊を編成し、県内各地を巡回してPRを行うもの。今年は前橋市役所・渋川市役所・沼田市役所・中之条町役場等を訪問した。

出発式では、関口理事長が電気使用の安全に関する啓発指導や節電の呼びかけ等に取り組む旨の趣意書を読み上げ、群馬県危機管理監中野三智男氏に手渡した。中野氏は、組合の活動を称えるとともに、参加組合員を激励した。

キャラバン隊は、組合の車両を先頭に、関東電気保安協会群馬事業本部、東京電気管理技術者協会群馬支部の車両が続ぎ、関係者及び県職員の大きな拍手に送られながら県庁を出発した。



見送られるキャラバン隊